

産婦人科

当科の方針と特徴

産婦人科の多岐にわたる分野に、最先端の、しかも心温まる医療を提供することが当科の使命と考えている（現在は不妊治療を除く）。

産科は、地域周産期センターとして、また大阪府産婦人科診療相互援助システム（OGCS）の準基幹病院として、年間約800の分娩を管理している。ほとんどを個室化して、プライバシーに配慮した環境で、小児科との連携を常に行いながら総合病院ならではの安全な分娩を目指している。

良性婦人科疾患に対しては、腹腔鏡や子宮鏡を用いた、患者さんの身体に優しい手術の適応を常に考慮、しかし最終的には安全性を優先する判断を術前カンファレンスにて全員で確認している。腹腔鏡の傷は、臍部は5mmで臍の最も深い位置としており、臍付近での傷はほとんど残らないとあってよい。最近話題の単孔式腹腔鏡では、臍付近に傷が一つで綺麗になるとはいいながら臍周囲に数センチの傷が必要であり、当科では単孔式を臍部には用いる予定はない。

悪性疾患に対しては、術前の病期診断、組織診断についての検討と、年齢や合併症についての考慮をしつつ、機能温存が可能かどうかの判断を常に皆で討議して治療方針決定を行っている。

子宮頸がんには、センチネルリンパ節検索を用いた広汎性子宮全摘術、広汎性子宮頸部摘出術（トラケクトミー）を施行しており、PETで発見できないような微小なリンパ節転移の検索に役立っている。頸がんではすでにこの症例数が50例を超えてその確実性・安全性が確認されたので、センチネルリンパ節が発見出来て手術中に転移が無いことが確認されれば、広い範囲のリンパ節郭清は省略することになっている。

子宮体がんに対してもセンチネルリンパ節検索をスタート、腹腔鏡での先進医療手術も承認を受け、センチネルリンパ節検索・郭清もこの腹腔鏡下で行っている。

放射線治療は放射線科とのカンファレンスを通じて、綿密な治療計画をたてている。抗がん剤治療は基本的には通院治療可能であり、外来化学療法室において十分な監視のもと施行している。また術後の合併症であるリンパ浮腫や排尿障害に対するサポート・治療が、看護師外来も含めてなされて効果をあげている。

女性骨盤外科分野は、メッシュ使用以外での骨盤臓器脱に対する治療を継続している。合併症や年齢に応じた治療が選択されて、高齢者の場合でも安全な治療となっている。ここでも看護師が排尿機能の評価、サポートを行っている。

(a) 産婦人科スタッフ医師14名（平成24年12月31日現在）

医師名	卒業年度	出身校名	着任年月日	身分
永野忠義	昭和54年	兵庫医大	平成17年9月1日	部長
寺川耕市	平成元年	京都大学	平成19年8月1日	副部長
榊原敦子	平成9年	長崎大学	平成19年5月1日	副部長
熊倉英利香	平成12年	京都大学	平成14年1月1日	医員
辻なつき	平成17年	和歌山県立医大	平成19年4月1日	医員
吉川博子	平成18年	金沢大学	平成20年4月1日	医員
自見倫敦	平成18年	産業医科大学	平成23年4月1日	医員
宮田明未	平成19年	神戸大学	平成21年4月1日	医員
佛原悠介	平成19年	広島大学	平成21年4月1日	医員
隅野朋子	平成19年	関西医科大学	平成24年4月1日	医員
山本瑠美子	平成20年	神戸大学	平成24年4月1日	レジデント

出口真理	平成21年	滋賀医大	平成23年4月1日	レジデント
花田哲郎	平成22年	滋賀医大	平成24年4月1日	レジデント
芝本拓巳	昭和57年	鹿児島大学	平成19年10月1日	副部長（嘱託）
古山将康	昭和55年	大阪大学	平成17年10月1日	非常勤

(b) 臨床業績等

平成24年度総外来患者数：37,550人

総入院患者数：2,185人

2012年総手術件数：1,531件（入院・外来問わず、小手術も含む）

病床数：61床（産科28床、婦人科33床）

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

周産期専門医制度指定研修施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設（認定施設番号062709）

(c) 平成24年産婦人科主要手術件数：1,062件（平成24年1月～平成24年12月）

1. 婦人科主要手術件数：760件（平成24年1月～平成24年12月）

1-1. 婦人科悪性手術

手術名	件数	備考
広汎子宮全摘	28件	トラケレクトミー 6件
腹式子宮全摘	47件	
膣式子宮全摘	7件	
その他の悪性開腹手術	65件	
円錐切除・LEEP	78件	
婦人科悪性手術合計	225件	

腹腔鏡下手術：40件を含む

1-2. 婦人科良性手術

手術名	件数	備考
腹腔鏡下手術	250件	腹腔鏡下膣式子宮全摘 40件、 腹腔鏡下筋腫核出 53件 腹腔鏡下子宮外妊娠手術 21件を含む
腹式子宮全摘	60件	
膣式子宮全摘	22件	腹式筋腫核出 41件、腹式付属器腫瘍手術 31件を含む
子宮鏡手術	86件	
子宮脱・尿失禁手術（子宮全摘除く）	13件	
その他良性手術	74件	
婦人科良性手術合計	505件	

2. 産科科主要手術件数：302件（平成24年1月～平成24年12月）

手術名	件数	備考
帝王切開	164件	
頸管縫縮	9件	

吸引分娩	54 件	多胎分娩は除く うち中期中絶 2 件
外回転	25 件	
骨盤位分娩術	1 件	
流産手術	49 件	
産科主要手術合計	302 件	

注； 子宮外妊娠手術は婦人科手術に含めた

(d) 産科実績（平成24年1月～平成24年12月）

総分娩数（22 週以降）：847件

帝王切開術：164件

NICU：有

母体外管理可能週数：妊娠 26 週以後

新生児に対する小児科の対応は、当直あり、24 時間常時対応可能。

(e) 学会発表、論文発表

学会発表

学会発表

第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 24 年 4 月 13 日（金）～15 日（土）於神戸

「Budd-Chiari 症候群との合併のため診断に苦慮した傍卵管境界悪性腫瘍の一例」

野瀬真理、宮田明未、佛原悠介、自見倫敦、吉川博子、辻なつき、上田創平、宇治田麻里、芝本拓巳、榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 24 年 4 月 13 日（金）～15 日（土）於神戸

「初期浸潤子宮頸癌において画像診断のみではリンパ節転移は正しく診断できない～SLN 生検の有用性について～」

宮田明未、辻なつき、野瀬真理、佛原悠介、自見倫敦、吉川博子、宇治田麻里、上田創平、榊原敦子、芝本拓巳、寺川耕市、永野忠義

第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 24 年 4 月 13 日（金）～15 日（土）於神戸

「手術可能な進行子宮頸癌に neoadjuvant chemotherapy(NAC)は有用か」

自見倫敦、永野忠義、野瀬真理、佛原悠介、宮田明未、吉川博子、上田創平、辻なつき、宇治田麻里、芝本拓巳、寺川耕市

第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 24 年 4 月 13 日（金）～15 日（土）於神戸

「胞状奇胎合併妊娠と診断していた間葉性異形性胎盤(PMD)の一例」

吉川博子、永野忠義、野瀬真理、佛原悠介、宮田明未、自見倫敦、辻なつき、宇治田麻里、上田創平、熊倉英利香、榊原敦子、寺川耕市

第 126 回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会

平成 24 年 6 月 16（土）～17 日（日）於大阪

「全腹腔鏡下子宮全的術の膣断端閉鎖における合成吸収型創閉鎖用デバイス（V-Loc180）の使用経験」

佛原悠介、野瀬真理、宮田明未、自見倫敦、吉川博子、辻なつき、宇治田麻里、上田創平、芝本拓巳、榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

第 126 回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会

平成 24 年 6 月 16 (土) ~17 日 (日) 於大阪

「無症状であったが術前画像にて診断し得た卵管癌の 1 例」

花田哲郎、野瀬真理、佛原悠介、宮田明未、自見倫敦、吉川博子、辻なつき、上田創平、宇治田麻里、榊原敦子、芝本拓巳、寺川耕市、永野忠義

第 126 回近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会

平成 24 年 6 月 16 (土) ~17 日 (日) 於大阪

「右卵巢成熟嚢胞性奇形腫核出後に悪性転化にて再発した 1 例」

野瀬真理、宮田明未、吉川博子、佛原悠介、自見倫敦、辻なつき、上田創平、宇治田麻里、熊倉英利香、芝本拓巳、榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

第 7 回 Meet the Hemotologists

平成 24 年 7 月 7 日 (土) 於京都

「発作性夜間ヘモグロビン尿症患者の妊娠例に対しエクリズマブを投与した一例」

末木祐希¹⁾、岩本芳浩¹⁾、稲野将二郎¹⁾、福永明子¹⁾、柳田宗之¹⁾、永野忠義、有馬靖佳¹⁾

北野病院 血液内科¹⁾

第 5 回温知会サマークリニカルフォーラム

平成 24 年 7 月 16 日 (月・祝) 於京都

「当院におけるジェノゲスト長期処方症例の検討」

佛原悠介

第 20 回きたの産婦人科セミナー

平成 24 年 9 月 1 日 (土) 於大阪

「子宮体癌の先進医療手術」

自見倫敦

第 52 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 24 年 9 月 13 日 (木) ~9 月 15 日 (土) 於北海道

「EZ アクセスを側腹部ポートとして使用した症例の検討」

佛原悠介、永野忠義、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、宮田明未、吉川博子、自見倫敦、辻なつき、熊倉英利香、芝本拓巳、榊原敦子、寺川耕市

第 52 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 24 年 9 月 13 日 (木) ~9 月 15 日 (土) 於北海道

「腹腔鏡下手術後 4 日目に原因不明のクレアチン上昇を認め、その後膀胱穿孔が判明した 1 例」

宮田明未、辻なつき、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、隅野朋子、佛原悠介、自見倫敦、吉川博子、寺川耕市、永野忠義

The 2nd International Workshop on Gynecologic Oncology

Sep 28, 2012 Kyoto Tokyu Hotel, Kyoto, JAPAN

「Abdominal Radical Trachelectomy」

Tadayoshi Nagano

第 13 回北陸内視鏡および子宮頸部癌手術研究会

平成 24 年 10 月 6 日 (土) 於金沢

「縮小手術として行う骨盤神経温存広汎子宮全摘術」(特別講演)

永野忠義

14th Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society(IGCS)

October 13-16, 2012 Vancouver, Canada

「SENTINEL NODES BIOPSY CAN ACCURATELY PREDICT LYMPH NODES METASTASES IN EARLY STAGE CERVICAL CANCER, COMPARED WITH MRI AND PET-CT」

H. Miyata, N. Tsuji, T. Hanada, M. Deguchi, R. Yamamoto, Y. Butsuhara, T. Sumino, T. Jimi, H. Yoshikawa, K. Terakawa, T. Nagano

第 53 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 24 年 11 月 23 日 (金) ~24 日 (土) 於岡山

「初期浸潤子宮頸癌に対する腹腔鏡下センチネルリンパ節生検の有用性に関する検討」

宮田明未、辻なつき、野瀬真理、佛原悠介、自見倫敦、吉川博子、上田創平、宇治田麻里、熊倉英利香、榊原敦子、芝本拓巳、寺川耕市、永野忠義

第 53 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会

平成 24 年 11 月 23 日 (金) ~24 日 (土) 於岡山

「子宮腫瘍の術後再発し、腹壁に転移性腫瘍が多発した一例」

吉川博子、永野忠義、野瀬真理、佛原悠介、宮田明未、自見倫敦、辻なつき、榊原敦子、寺川耕市

第 21 回きたの産婦人科セミナー

平成 25 年 1 月 26 日 (土)

「当科における進行子宮頸部腺癌の手術先行治療成績の検討」

花田哲郎

第 27 回大阪温知会総会

平成 25 年 2 月 23 日 (土)

「閉経以降も増大傾向を示した子宮腫瘍の一例」

出口真理、花田哲郎、山本瑠美子、隅野朋子、佛原悠介、宮田明未、自見倫敦、吉川博子、辻なつき、熊倉英利香、寺川耕市、永野忠義

論文・著書

「子宮留膿腫を認めるが頸部腫大はなく、診断困難であった子宮頸部最少偏倚腺癌の 1 例」
吉川博子、永野忠義 臨床婦人科産科 66 巻 8 号 pp689-694

連載 教訓的症例から学ぶ産婦人科診療のピットフォール

「子宮体癌における傍大動脈リンパ節廓清症例の選別」

寺川耕市、榊原敦子、野瀬真理、宮田明未、佛原悠介、吉川博子、自見倫敦、辻なつき、上田創平、宇治田麻里、熊倉英利香、芝本拓巳、永野忠義

産婦人科の進歩第 64 巻 3 号 pp384-386

「発展途上国および紛争地に対する医療援助活動における産婦人科治療の実態と問題」

上田創平、野瀬真理、佛原悠介、宮田明未、自見倫敦、吉川博子、辻なつき、寺川耕市、永

野忠義

産婦人科の実際第 61 巻第 8 号

「当院における子宮頸癌に対するセンチネルリンパ節廓清」

宮田明未、辻なつき、野瀬真理、佛原悠介、自見倫敦、吉川博子、寺川耕市、永野忠義
産婦人科の実際第 61 巻第 9 号 pp1375-1378

「Massive Subchorionic Thrombosis

Followed by Magnetic Resonance Imaging」

Yuki Himoto, MD,* Ryosuke Okumura, MD, PhD,* Natsuki Tsuji, MD, Tadayoshi Nagano, MD, PhD, Masakazu Fujimoto, MD, Toshihide Yamaoka, MD, PhD, § and Shigene Kohno, MD, PhD*

(J Comput Assist Tomogr 2012;36: 330-333)

「初期浸潤子宮頸癌に対する腹腔鏡下センチネルリンパ節廓清」

宮田明未、辻なつき、出口真理、山本瑠美子、佛原悠介、隅野朋子、自見倫敦、吉川博子、熊倉英利香、芝本拓巳、榊原敦子、寺川耕市、永野忠義

日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 Vol.28 No.2 pp6023-607

「Pregnancy after neoadjuvant chemotherapy followed by abdominal radical trachelectomy in stage IB2 cervical cancer: A case report」

Natsuki Tsuji, Yusuke Butsuhara, Hiroko Yoshikawa, Koichi Terakawa, Tadayoshi Nagano

Gynecologic Oncology Reports 4 (2013)13-15

Co-op ステーション P98-99 vol.285 Jul 2012

子宮内膜症 永野忠義

Co-op ステーション P94-95 vol.286 Aug 2012

子宮筋腫 永野忠義

「センチネルリンパ節生検の現況」

辻なつき、宮田明未、寺川耕市、永野忠義

婦人科がん-最新の研究動向-II 子宮頸がん 子宮頸癌の治療 外科治療

日本臨床 70巻 増刊号4